

日野市における

緑地協定第1号が誕生

平成23年4月20日に日野市で初めてとなります緑地協定が誕生しました。

緑地協定とは、法律（都市緑地法）に基づき、土地所有者等の皆さんが地域の緑化や緑の保全についてルール等を定め、市の認可を受けて、よ

り良い緑のある住環境を創っていく制度です。

なお、緑地協定のメリットとしては、地域の皆さんの総意のもと、まちぐるみで緑化を行うため、計画的な緑化が図れることや環境・景観のレベルの向上につながる事があげられ、さらに地域の皆さんが自主的に緑化活動・管理作業を行うため、地域の一体化やコミュニケーションの向上にも効果があるとされています。

今回誕生した緑地協定は、多摩平の森において緑のある良好な住環境を創出していくにあたり大変効果的なものになります。

今後日野市がさらに緑溢れる街なみとなるよう、緑地協定を市内に広め、緑化や緑の保全への取り組みに努めてまいりますので、市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。
(K・W)

● 今回誕生した緑地協定の概要 ●

- ①緑地協定の名称 … フォレガート多摩平の森 緑地協定
- ②協定者の名称 … 大和ハウス工業株式会社南多摩支店
- ③協定の区域 … フォレガート多摩平の森地区
(日野市多摩平四丁目4番1)
- ④区域の面積 … 4224.72㎡
- ⑤(計画)戸数 … 22戸

グリーン・キャンパス・プログラムにおける
植生調査を行いました



調査前の全体説明

東京グリーン・キャンパス・プログラムに参加している明星大学では、環境・生態学系1年生の授業の一環として、日野東光寺緑地保全地域において植生調査を実施した。

植生調査は平成23年5月15日に予備調査、5月20日に本調査を行った。本調査への参加者は学生73名、教員6名、日野市緑地ボランティアの方3名であった。

調査の方法は、緑地内に異なる植生の地点3か所を選定し、各々に3m×3mのコドラートを4つずつ、計12箇所設置してコドラート内の木本類及び草本類を調査した。

明星大学環境・生態学系兼任講師 橋田 祥子



コドラートの前で植物採集とスケッチ



採集した植物を図鑑で調べる